

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no

# 4

TEL 0551-23-3008

FAX 0551-23-3013

チュウホク ドット コム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

## 助かっています 学校応援団

地域教育情報紙『中北.com』第2号に掲載しました『学校応援団』の活動の様子を紹介したいと思います。

中北管内で平成20年度から委託を受けて活動を開始している、南アルプス市若草地区と北杜市大泉地区の学校応援団の様子です。

### 南アルプス市若草地区の取り組み

南アルプス市では、今年度より全ての中学校区（7中学校区）に『学校応援団』を立ち上げ、地域ぐるみで学校を支援する活動に取り組んでいます。その中の「若草地区学校応援団」は、若草中学校・若草小学校・若草南小学校を対象に活動を展開しています。

#### 若草小学校

若草小学校での学校支援ボランティアの活動は、朝読書の時間の読みきかせ、校舎内の環境美化（生け花）、登下校時の安全指導、授業支援など多方面にわたっています。

次に紹介するのは、5年生の家庭科の授業で、電動ミシンを活用する初期段階において支援を依頼した時の様子です。子どもたちは、自分のおばあさんくらいの年齢の方に教えてもらい、授業を終えた後では、「優しく教えていただいて分かりやすかった」、「ゆったりと取り組むことができた」などの感想を述べていました。



下糸の巻き方の学習です

ミシンを使う授業をボランティアに支援していただくことにより、少人数での指導が可能になるのはもちろんのこと、安全面にも配慮した授業が仕組めるのです。

#### 若草南小学校

若草南小学校での学校支援ボランティアの活動も、保護者と連携しながら、登下校時の安全見守り活動、学習教材作り、授業支援、朝と放課後

の読みきかせ、クラブ活動支援等広範囲です。



木材に絵を描き、糸のこで切ります

その中で、教材作りボランティアの方々も、授業や読みきかせなどで使ういろいろな教材作りに取り組んでいます。学校では、ボランティアが作製した教材を、効果的に使用して授業を進めているそうです。この活動は、学校応援団の委託を受ける前から続けてきており、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながらの活動となっていることでしょう。

### 北杜市大泉地区の取り組み

北杜市の『大泉地区学校応援団』が支援の対象としているのは、泉小学校と泉中学校です。この地域では委託を受ける以前より、学校を支援することを目的としたボランティア活動が活発に行われておりました。学校応援団として新たに学校支援ボランティアを募集し、今までの活動を更に発展しながらの活動となっています。

#### 泉小学校

泉小学校では、学校支援ボランティアの活動として、登下校の見守り活動、朝読書の時間の読みきかせ、学校行事の支援、総合的な学習の時間や外国語活動の支援、クラブ活動支援等多方面にわたっています。以下に紹介するのは10月26日（月）のクラブ活動の様子です。

英会話クラブでは、子どもたちがよく知っている『はらぺこ青虫』などの絵本を、ボランティアが

英語で読み聞かせていました。途中で簡単な単語をみんなで発音する時間もあり、大変盛り上がっていました。



クラフトクラブは、初めて参加したボランティアの方が、プラモデル作りの支援をしていました。手作り玩具展を開くほどの方でしたので、次の活動についての話も盛り上がり、ジオラマ作りへと発展していました。

家庭科クラブは、『フルーツ白玉作り』の実習支援でした。ガスコンロ等を利用するため、安全面においてもボランティアの果たす役割は大きいものがあります。

今回初めて参加した3名のボランティアは、「早く子どもたちの名前を覚えたい」、「次の活動

が楽しみです」と異口同音に感想を述べられていました。

地域のお年寄りを中心とした、ゲートボールクラブの方々、学校応援団発足以前より小学校のクラブ活動に協力して下さっていたそうです。この日は雨天でしたが、子どもたちは、室内ゲートボール場で3名のボランティアにルールを教えてもらいながら楽しくプレイしていました。



また、泉中学校では10月31日(土)に開催した校内強歩大会において、学校支援ボランティア(パトロールボランティア)の方々が、検問所等で沿道安全指導にあたりました。

## P T A 連合会の活動

中北地区では、各市町ごとに小中学校でP T A連合会を結成し、活動を行っております。今回は、その中から、南アルプス市と中央市の活動をご紹介します。

まず、南アルプス市では、11月15日(日)に、「南アルプス市連合P T A学習会」を、同市櫛形生涯学習センターで行いました。



小西貴士さんと芦安中学校の発表生徒

キープ自然学校の小西貴士さんのスライドショー「子どものうた 森のかぜ」を中心に、小西さんから自然の感じ方表現の仕方を学んだ芦安中学校の生徒たちが自ら登った仙丈ヶ岳全校登山の場で撮影・構成したスライドショーも上映され、大変感動的な学習会となりました。ほんわり温かな時間を過ごした参加者は、自然や子どもたちへの視点を見つめ直すのみでなく、「そのまん

まがいいですよ」という小西さんの言葉に、皆、自身が満たされた思いで会場を後にしました。

様子は、芦安中学校のホームページでも見られますので、ご覧下さい。

中央市では、第4回中央市教育振興大会を8月20日(木)に、中央市玉穂生涯学習館ホールで行いました。

今年の内容は、アトラクションを「三村小児童」が行い、各校の発表として、「玉穂P T A活動」、「田富南小児童の農村漁村体験の報告」、教育委員会から教育長の「まごころ考」のご講話などがありました。

鈴木中人先生の「いのちを大切に作る心を育む」という講演の他に、このように、各学校の活動や、児童生徒の活動、教育委員会の提言等が行われ、最後に「家庭における子どもと関わる7か条」の「大会宣言」で終了しましたが、保護者、教員、教育委員会が一同に集まるこの大会を、中央市のP T A連絡協議会が中心になって運営しています。

## 中北地区高等学校 秋の地域交流行事

10月から11月にかけて多くの高校で学園祭を中心に地域との交流行事がおこなわれました。学園祭ではクラスや部活動の発表や展示などの催し物はもちろんのこと模擬店や余興なども多く、子どもからおとなまで楽しめる行事になっています。中学生の皆さんにとっては説明会やオープンキャンパスとは違った面から高校を見ることができるので、志望校を考えるよい機会になっています。今年見逃した方は、来年はぜひ出かけてみてください。

### 「フェスタ杜(もり)のきらめき」 北杜高校 10月10日(土)



野菜が飛びように売れました

「フェスタ杜のきらめき」は、総合学科の生徒さんを中心に開催される行事です。総合学科各系列の特色を出した販売活動や展示のほかに、地域授産施設の加工品販売や伝承未来塾の木材加工指導、さらに地域の人たちも加わった交流ステージがあり、学校と地域との交流が深められました。農産物販売では、農業高校の収穫祭の伝統を引き継いで、草花、野菜あるいはジャムや味噌などの加工品等が出品されました。価格は、おおむね市価の3分の1から半分です。毎年大変な人気なので、販売品を確実に手に入れたい方は早めにお出かけになることをおすすめします。なお、この収益は来年度のフェスタの運営費等となり教育活動に役立てられます。

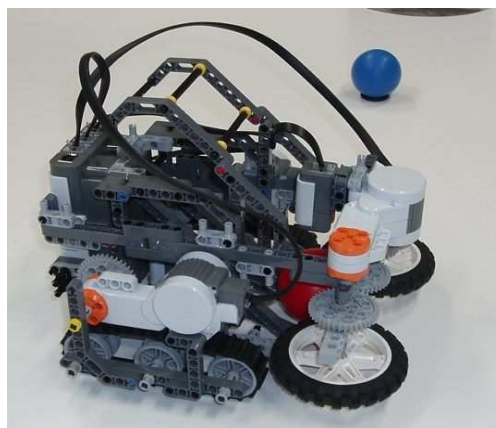
### 「葦工祭」一般公開日 葦崎工業高校 10月10日(土)



デザインも工夫した「いかだ流し」

おりしもこの日、エコカー部製作の省エネカーが、「Hondaエコノパワー燃費競技全国大会グループ(高校クラス)」で全国20位となりました。平均時速25km以上で走行し、1リッターあたり1200km近くの燃費を実現、同校の技術力の高さを証明しました。さて、葦工祭ではその技術力を示す科ごとの学習や研究の成果の展示、情報技術部や環境化学部、ロボット工学部などの展示がありました。子どもたちも楽しめる「ものづくり教室」や家庭で役立つ技術を伝授する「配線教室」も開催されました。前日までの台風で心配された「いかだ流し」も実施。これも工業高校らしい企画でした。

### 「五葉祭」一般公開日 甲府工業高校 10月10日(土)



国際大会出場を決めたロボットです

こちらも技術力を売り物にする工業高校。各学科、あるいはクラスや部活動による高水準の展示が目を見ました。科ごとの展示場所では、生徒さんが来校者にていねいな説明をしていました。動くものや乗れるものが多いので子どもたちも大喜びです。「WRO(世界ロボットオリンピック大会) JAPAN」審査員特別賞となって韓国での国際大会進出を決めたロボットが精密な動作を見せていました。ソーラーカーは子どもたちの試乗で休む間もなく動き回っていました。建築科・土木科の展示作品は細部までつくってあり見事なものです。全国でトップクラスの成績をおさめたものもありました。



『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。  
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>

「白楊祭(収穫感謝祭)一般公開日

農林高校

11月7日(土)



品種改良で品質が向上したシクラメンです

今年から来校者重視をいっそう強めました。生徒さんの販売体験の機会を増やす意味もかねて模擬店が増設されました。農作物販売は、農業の専門高校にふさわしい充実の品揃えです。米、果物、草花、加工食品、野菜、木工製品等々。それぞれの販売品目はたくさんあって書ききれません。それらが市価の50～60%の価格で販売されました。販売開始時刻の午後1時には長い列が出来ていました。1時間足らずで売り切れるものもありました。なお、農林高校は持ち前の技術力と広大な施設を生かして一般向けの「農林高校カミングデー講座」を開設したり、甲斐市の公園整備に協力したりなど、地域との交流に熱心です。詳しいことは同校のホームページをご覧ください。

「紫紺祭」(甲商デパート)

甲府商業高校

11月14日(土)



商品はよく吟味して仕入れてあります

紫紺祭の一般公開の目玉は、「甲商デパート」。今年で第53回となる老舗です。雨にもかかわらず今年も主会場の体育館が狭く感じるほど来校者で賑わいました。販売品目は、食料品・日用雑貨から大型家電まで多種多様です。全国名産品や全国の専門高校が開発した高校ブランドもあって仕入れ元は全国に広がっています。この「甲商デパート」は、商業実践の学習の場として行われています。各店舗は利益率を考えて設定されていますし、その企画は4月から総合的な学習の時間やホームルームの時間で練られてきたものです。売り場の生徒さんに聞くと、「商品は十分に吟味して仕入れました」、「価格の設定は一般の店頭価格を見ながら決めました」とのこと。ただし、価格は抑えてあるので、お客さんは気軽に買い物を楽しめます。

## ことぶき勸学院「勸学院祭」開催される

ことぶき勸学院は高齢者のための生涯学習事業で、普段は9つの地域学園に分かれて講義形式を中心に学習活動をおこなっています。

10月22日(木)に、県民文化ホールを会場に県下の全地域学園の皆さんが集まって舞台発表を行う勸学院祭が開催され、中北地区の甲府・中巨摩・北巨摩の各地域学園の皆さんも発表をおこないました。この日のために練習してきた成果が見事に披露され、充実感のある舞台でした。また、ほぼ同時期に各地域学園で展示発表も行われました。

なお、平成22年度の入学生募集は1月18日(月)からおこないます。詳細は、中北教育事務所(電話 0551-23-3007)までお問い合わせください。



中巨摩学園の発表  
「健康体操『これから音頭』」

編集・発行  
中北教育事務所地域教育推進担当

平成21年度『中北.com』 4

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4  
電話 0551-23-3008  
ファックス 0551-23-3013